

マメトラ

取扱説明書



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。お読みになった後も必ず保存してください。

機種名

MC-AⅢ-W・D

マメトラ 一輪管理機



マメトラ 農機株式会社

はじめに

マメトラ一輪管理機をお買い上げ
いただきありがとうございます。

この取扱説明書は「管理機」の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。

製品を貸与される場合は、この取扱説明書を添付してお渡しください。取扱説明書を紛失、汚損された場合は当社又は当社の特約店に連絡してください。

なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。


ご不明のことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお近くの特約店・販売店にご相談ください。


本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。


なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

◆注意表示について

本取扱説明書では、特に、重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

サービスと保証について

☆保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

☆アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社営業所までご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型式名・区分
- 機体番号・エンジンの場合エンジン番号
- 故障内容(できるだけ詳しく)

☆補修部品の供給年限について

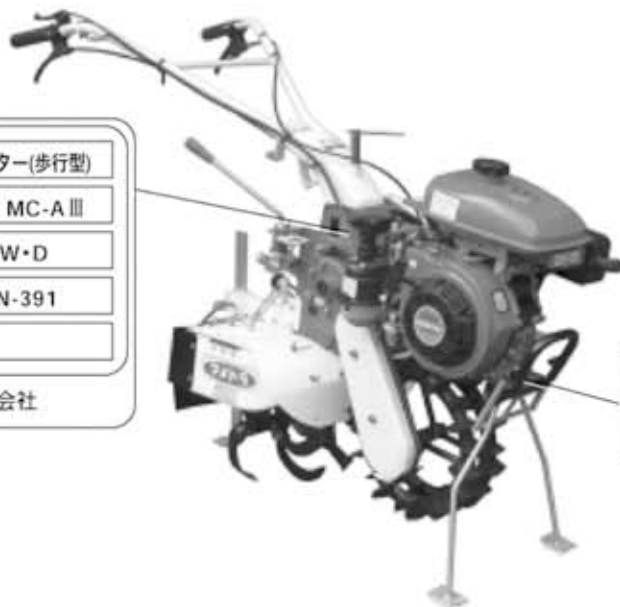
この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、納期および価格についてご相談させていただきます。

[例]

農業機械の種類	農用トラクター(歩行型)
型式名	マメトラ MC-AⅢ
区分	MC-AⅢ-W・D
エンジンの型式	GB130LN-391
機体番号	100001

マメトラ農機株式会社



エンジン打刻番号
GB130000000

☆取扱説明書について

本機取扱説明書を紛失・破損した場合はコードNo.159 9001 000 でご注文ください。

目次

● はじめに	I
● サービスと保証について	II
● 目次	1
1. 安全作業のための心得	2
2. 安全標識の貼付位置	10
3. 各部の名称と機能	12
4. 作業前の注意	14
5. 始動・発進・停止のしかた	17
5-1 始動のしかた	17
5-2 発進のしかた	18
5-3 停止のしかた	19
5-4 燃料コックを閉じます	19
6. 潤滑油	20
6-1 エンジン	20
6-2 ミッションケース	21
6-3 車軸ケース	21
7. 本機各部の構造と調整	22
7-1 主クラッチレバーの操作	22
7-2 チョークレバーの操作	22
7-3 暖気運転	23
7-4 エアクリーナの掃除	23
7-5 スロットルレバー	23
7-6 変速機構	24
7-7 バックセイフティ機構	24
7-8 ハンドル	25
7-9 エンジン停止	25
8. 不具合と対策方法	26
9. 手入と保存方法	27
手入れと保存方法・付属品・消耗品リスト	27
10. 特長	28
11. 仕様	29

1 安全作業のための心得

本機を使用するにあたって

<p>▲警告 こんなときは運転しない</p> <p>次のような項目に該当する場合は本機を使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。 ●酒を飲んだとき。 ●妊娠しているとき。 ●16才未満の人。 ●運転が未熟な人。  <p>病気・過労 飲酒運転 妊娠</p>	<p>▲警告 使用する人の服装</p> <p>滑りにくい安全靴・作業帽・ヘルメット・つなぎ等の作業に適した服装はち巻き・首巻き・腰タオルは厳禁</p> <p>守らないと</p> <p>機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。</p>  <p>○ × 服装や体の調子に注意</p>
<p>▲警告 機械を他人に貸すときは</p> <p>取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。</p> <p>守らないと</p> <p>死亡事故や重大な障害、機械の破損の危険性があります。</p>  <p>よく読んでから使ってね!</p>	<p>▲警告 機械の改造厳禁</p> <p>機械の改造や、指定以外のアタッチメントを取付けないでください。</p> <p>守らないと</p> <p>機械の故障、事故・ケガの危険性があります。</p> <p>指定以外の取付け改造はダメ!</p>
<p>▲注意 毎年定期点検整備を受けてください</p> <p>1年毎に定期点検整備、各部の保守をしてください。特に、燃料パイプ・電気配線は2年毎に交換してください。</p> <p>守らないと</p> <p>整備不良による事故や故障の原因となります。</p>  <p>最良の状態だ</p>	<p>▲警告 点検整備は平坦で安定した場所を選びます</p> <p>交通の危険がなく、機械が転倒しない安全な場所で整備をしてください。</p> <p>守らないと</p> <p>機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねく危険性があります。</p> <p>指定以外の取付け改造はダメ!</p>

使用前後の確認すること

<p>▲危険 給油・注油・点検はエンジンが冷めてから行なう</p> <p>エンジン回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に給油・注油・点検はしないでください。厳禁です。</p> <p>守らないと</p> <p>引火して火傷や火災の危険性があります。</p>  <p>エンジンが冷めてから</p>	<p>▲危険 火気厳禁</p> <p>燃料補給時には、くわえタバコや裸火照明は、絶対にしないでください。</p> <p>エンジンが熱い間は注油・給油はしないで</p> <p>守らないと</p> <p>燃料などに引火して火傷・火災をおこす危険性があります。</p>  <p>火気厳禁</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

使用前後の確認すること

<p>▲危険 燃料もれの注意</p> <p>燃料パイプの点検を必ずしてください。 破損が確認されたら、すぐ修理してください。</p> <p>守らないと 火災の原因になります。</p> 	<p>▲危険 こぼれた燃料はふき取る</p> <p>燃料キャップを確実にしめてください。 こぼれた燃料は、きれいにふき取ってください。</p> <p>守らないと 火災の原因になります。</p> 
<p>▲警告 排気ガスには十分に注意</p> <p>締切った屋内などではエンジンの始動をしないでください。 エンジン始動は風通しのよい屋外で始動。やむを得ず屋内で始動する場合は十分に換気してください。</p> <p>守らないと 排気ガスによる中毒を起し、死亡事故にいたるおそれがあります。</p> 	<p>▲警告 マフラー・エンジン周辺部のゴミは取り除く</p> <p>フラクズ・ゴミ・燃料などが付着していないか、作業前毎日点検し付着していれば取り除いてください。</p> <p>守らないと 火災事故やオーバーヒートを起こすことがあります。</p> 
<p>▲警告 電気部品・コードの点検</p> <p>被覆が溶けたりやぶれたり、又コードがはさまれていないか毎日作業前に点検してください。</p> <p>守らないと ショートして、火災の原因となることがあります。</p> 	<p>▲注意 作業前後は、必ず機械の点検をする</p> <p>特にクラッチレバーなどの操縦装置は、確実に作動することを確認してください。作動不良の場合は確実に作動するように調整してください。</p> <p>守らないと 整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。</p> 
<p>▲注意 カバー類は必ず取り付ける</p> <p>点検・整備等で取外した安全カバー類は、必ず元のように取り付けてください。</p> <p>守らないと 機械の回転部分に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。</p> 	<p>▲注意 エンジンを停止してください</p> <p>ベルトの交換・爪の交換、巻き付いた草などを取り除くときは必ずエンジンを停止してください。</p> <p>守らないと 傷害事故の原因になります。</p> 

1 安全作業のための心得

作業機に関する注意項目

▲警告 作業機の着脱は安全で平坦な固いところを選ぶ

必ずエンジンを止める。連結部が確実にセットされているか確認。
夜間には照明してください。

守らないと

思わぬ事故をまねくおそれがあります。



運搬時の注意項目

▲危険 あゆみ板上での主クラッチの操作厳守

進路変更のないようにシャリンの位置・進路を定めて最低速度で行なってください。またチェンジレバーを「中立」にしないでください。緊急時にはエンジンを止めてください。



守らないと

転落などの事故の原因となります。

▲警告 ゆみ板は強度・長さ・幅が充分ありすべり止めのあるものを使用

平坦で交通の安全な場所を選んでください。
トラックのエンジン停止。車止め使用。サイドブレーキ使用。
スリップのしないものを選んでください。



守らないと

転落などの事故の原因となります。

▲警告 トラックには必ず車止め

積み込み、積み降ろしのトラックの変速ギヤーは「P」「1速」「R」位置に入れ駐車ブレーキを必ず掛けて車止めをしておいてください。

駐車ブレーキ
変速ギヤ「R(バック)」



守らないと

トラックが動いて転落事故などまねくおそれがあります。

▲警告 積み込み・積み降ろし作業は誘導者をつけて

平坦で交通の安全な場所がかつ低速で周囲の安全を十分確認してください。

守らないと

転落などの事故をまねくおそれがあります。



▲警告 積み込み・積み降ろし作業中、機械の直前には絶対に立たないで

積み込み・積み降ろし作業中、機械の直前には絶対に立たないでください。



守らないと

傷害事故をまねくおそれがあります。

▲警告 登る時は前進で、降りる時は後退で、ロータリは中立

登る時は前進で、降りる時は後退で、ロータリは中立で移動してください。

守らないと

バランスを崩し、転落などの事故の原因になります。



運搬時の注意項目

▲警告 ロープでトラックに機体を確実に固定

トラックに乗せての移動は、強度の充分あるロープで機械を固定してください。横倒して運搬すると燃料・オイルが漏れる場合があります。強度の充分あるロープで機械を固定してください。

守らないと

荷台から機械が転落したりして事故をまねくおそれがあります。



移動、ほ場出し入れ時の注意事項

▲警告 坂道では…

- ・急坂道の移動はトラック等で運搬してください。
- ・転倒やスリップに気を付け最低速度で移動。
- ・途中で主クラッチを切ったり、チェンジレバーの操作は行なわないでください。
- ・方向を変える時はハンドルを振って行なってください。

守らないと

本機が思わぬ方向に動き転倒や思わぬ事故をまねくおそれがあります。



▲警告 溝越え・高いあぜ・軟弱な場所を通るときは必ずあゆみ板を使用

最低速度で移動し、あゆみ板は幅・長さ・強度が機械に適したものを使用してください。また、あゆみ板の上では主クラッチ・チェンジレバーの操作をしないでください。

守らないと

スリップや転倒による事故をまねくおそれがあります。



▲警告 周囲に合図してゆっくりと発進

周囲の人に合図してエンジン始動。急発進しないようゆっくり発進してください。

守らないと

思わぬ傷害事故の原因となることがあります。



▲警告 ほ場にはロータリを回転したまま出し入れしない

耕うん時以外はロータリを停止にしてください。

守らないと

爪や作業機に巻き込まれてケガを負うおそれがあります。



▲警告 急発進・急停止・急旋回やスピードの出し過ぎ禁止

発進、停止はゆっくりと。坂道、凸凹道やカーブは充分速度を落す。

守らないと

機械の破損・事故の原因となります。



1 安全作業のための心得

移動、ほ場出し入れ時の注意事項

<p>▲警告 移動時は路肩に注意</p> <p>溝のある農道や両側が傾斜している農道では、路肩に充分注意して低速で走行してください。</p> <p>注意しないと</p> <p>転落事故を起すことがあります。</p> 	<p>▲警告 移動時はロータリの爪を回さない</p> <p>移動時はロータリの爪を回さない、作業機を動かさない。</p> <p>守らないと</p> <p>爪や作業機に巻き込まれて、ケガを負うおそれがあります。</p> 
<p>▲注意 耕うん機には人や物をのせない</p> <p>どんな場合でも絶対に人を乗せないでください。</p> <p>守らないと</p> <p>障害事故の原因になります。</p> 	<p>▲警告 燃えているゴミの上やその近くは走行禁止</p> <p>守らないと</p> <p>燃料やオイルなどに引火し、火災になるおそれがあります。</p> 
<p>▲警告 バックするときは低速で</p> <p>転倒しないよう足元に充分注意し、後方に障害物がないかを確認。特にハウス内では壁や支柱との間に挟まれないよう注意してください。</p> <p>守らないと</p> <p>思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。</p> 	<p>▲警告 坂道や凸凹道・カーブでは低速運転</p> <p>移動時はロータリの爪を回さない、作業機を動かさない。</p> <p>守らないと</p> <p>転倒や転落の原因となるおそれがあります。</p> 
<p>▲警告 わき見運転や手放し運転・片手運転禁止</p> <p>守らないと</p> <p>傷害事故の原因となります。</p> 	<p>▲注意 軟弱地では、スリップの注意</p> <p>雨上がりの時、軟弱な場所を通る時は低速運転にしてください。</p> <p>守らないと</p> <p>高速運転では、スリップや転倒の原因になるおそれがあります。</p> 

作業時の注意事項

▲危険 ロータリの下にもぐったり足をいれない

ロータリの下にもぐったり、手を入れたり、足を踏み入れたりしないでください。

守らないと

何かの原因で作業機が動いたときに、傷害事故を起すおそれがあります。



▲警告 ハウス内での作業は換気を十分に

排気ガスが充満しないよう、十分に換気を行ってください。又長時間の運転は行なわないでください。

守らないと

排気ガスによる中毒を起し、死亡事故のいたるおそれがあります。



▲警告 ロータリ側に立っての後退作業禁止

ロータリ部が作業者の直前にある状態で後進作業は厳禁です。作業者はハンドルを180度回動して前進作業をしてください。

守らないと

障害物と本機の間にはさまれたり転倒した場合、ロータリの爪に巻き込まれ重傷を負うおそれがあります。



▲警告 ロータリ作業ではダッシング(機械の飛び出し)に注意

地面が固かったり、石をかんだ場合、またロータリを急激に地面に降ろしたりすると、回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に飛び出すことがあります。

守らないと

特に、川や崖、人のいる方向に飛び出すと、転落や人身事故をまねくおそれがあります。



ダッシングに注意!

▲警告 エンジン始動時は周囲確認

エンジン始動時にはレバー位置確認。チェンジレバーの「止」をクラッチを「切」にして周囲の人に合図、安全を確かめてください。

守らないと

思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



▲警告 エンジンの始動

やむを得ず密閉した庫内での始動は、長時間エンジンをかけたままにしないでください。

守らないと

ガス中毒を起こす危険があります。



▲警告 くわえ煙草での作業厳禁

守らないと

火災など、思わぬ事故の原因となります。



▲警告 人や動物を近づけない

特に子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

守らないと

思わぬ傷害事故の原因となる可能性があります。



1 安全作業のための心得

作業時の注意事項

▲警告 物や人をウエイト代りにしない

バランスウエイト代りに人や物を乗せないでください。作業機に合った純正のバランスウエイトを使用してください。



守らないと

思わぬ傷害事故を引き起こします。

▲警告 旋回・バック時はロータリ回転を止める

ロータリ作業時で、旋回やバックする時、ロータリの回転を止めてください。



守らないと

回転する爪に巻き込まれ、重傷を負うことがあります。

▲警告 後退するときは障害物に注意

転倒しないように足元に充分注意し、後方に障害物がないせか確認し、障害物と機械との間に挟まれないようにしてください。



守らないと

機械が動き出し事故の原因となります。

▲警告 機械から離れるときは平坦で安定した場所に置きエンジンを止める

やむ得ず傾斜地に置く場合は、必ず車止めをしてください。



守らないと

機械が動き出し、事故の原因になります。

▲注意 機械に付いた泥・爪に巻き付いた草を取り除くときはエンジンを停止

守らないと

傷害事故をまねくおそれがあります。



作業終了後・格納時の注意項目

▲危険 シートは機械が充分冷めてからかける

守らないと

火災事故を引き起こすことがあります。



▲警告 長期格納時は燃料タンク・気化器内の燃料を抜き取る

守らないと

燃料が変質してエンジンの不具合を起したり、火災の原因となることがあります。



作業終了後・格納時の注意事項

▲警告 使用後の手入れ

必ずその日の内にエンジン・機械についたワラ・草などは取り除く。

守らないと

火災事故の原因となります。



▲注意 点検整備は過熱部分が充分冷めてから

守らないと

火傷をするおそれがあります。



▲危険 機械の掃除・点検をする時はエンジンを停止

守らないと

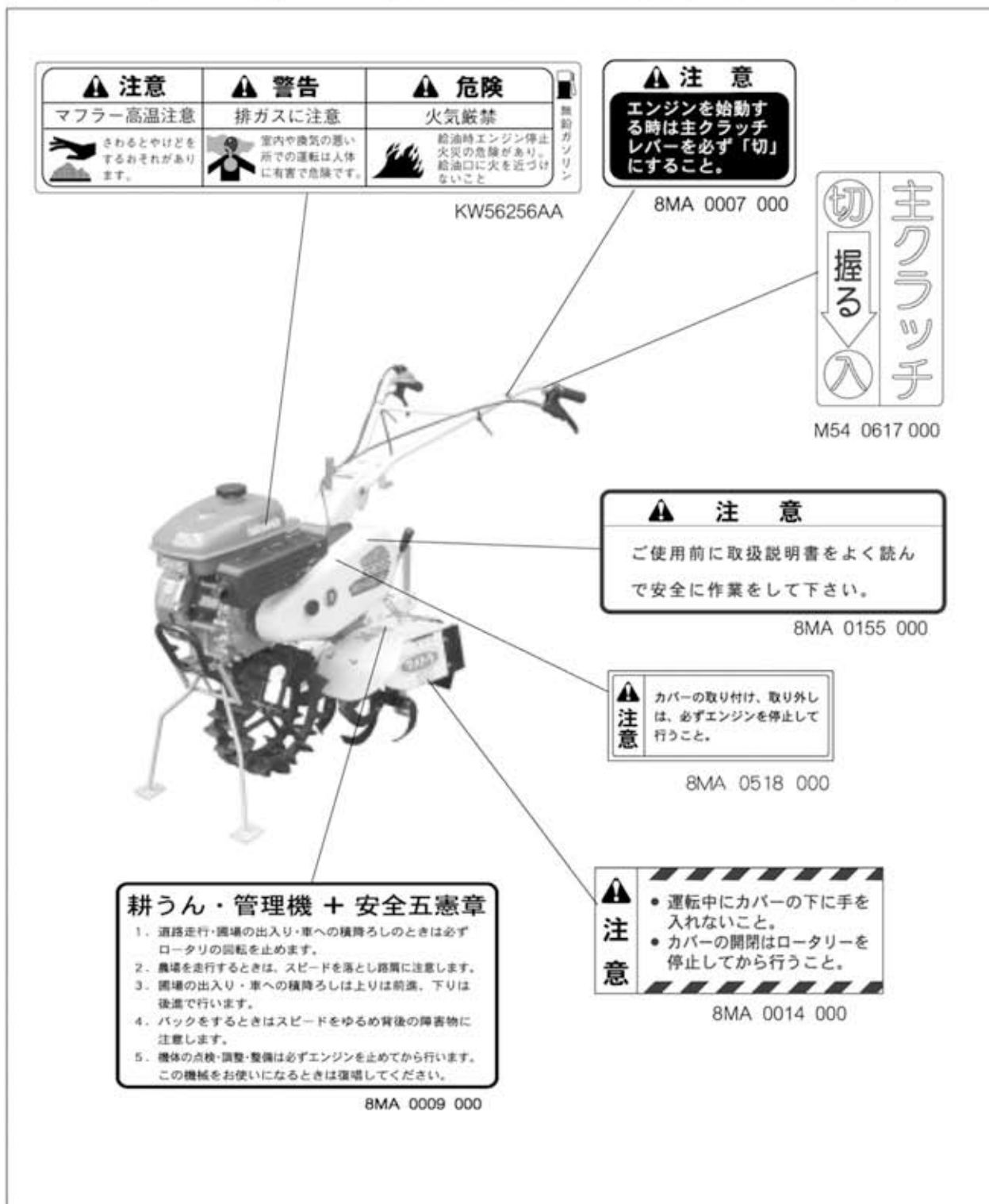
機械に巻き込まれてケガをするおそれがあります。



2 安全標識貼付位置

安全に作業をしていただくために、最低限に守っていただきたい注意事項を記載したラベルを、機械に貼り付けてあります。

▲の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる、重要な項目です。ラベルが汚染したり剥がれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。



停止ボタン

ワンタッチ

8MA 0149 000

緊急停止

危険

燃料(ガソリン)給油注意

- 燃料(ガソリン)をフィルターの赤印以上に入れないでください。(右図)
- 赤印以上に燃料を入れようと機体が傾斜した時タンクキャップから燃料(ガソリン)があふれることがあります。万一引火した場合火災の恐れがあります。



8MA 3921 000

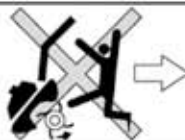
ガソリンの抜き取り

作業終了後は必ず燃料コックレバーを止め位置にしてからブルドレンつまみを引いてキャブレター内のガソリンを抜き取ってください。



8MA 3923 000

警告



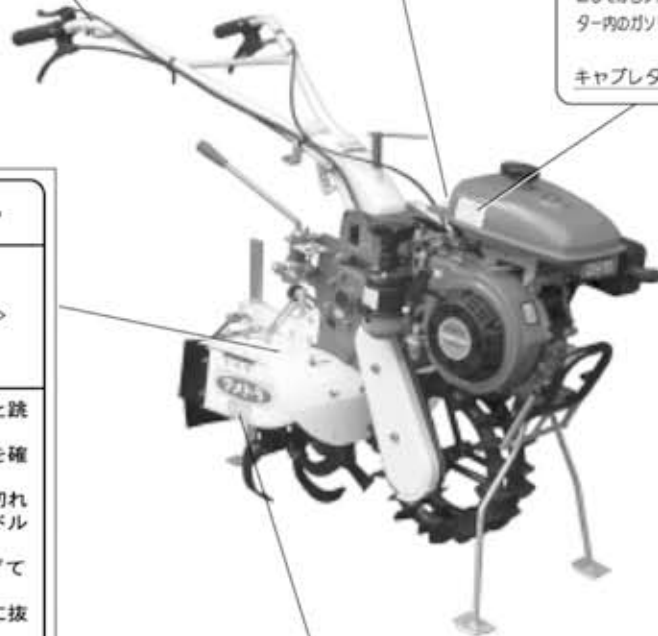
- 後進時、ハンドルが意外と跳ね上り、足元が危険です。
- 後方に障害物がない事を確認する。
 - 主クラッチが何時でも切れる様身長に合わせてハンドルの調節をする。
 - エンジン回転数を下げてゆっくり後進する。
 - 抵抗棒等は土から完全に抜かないこと。

8MA 0084 000

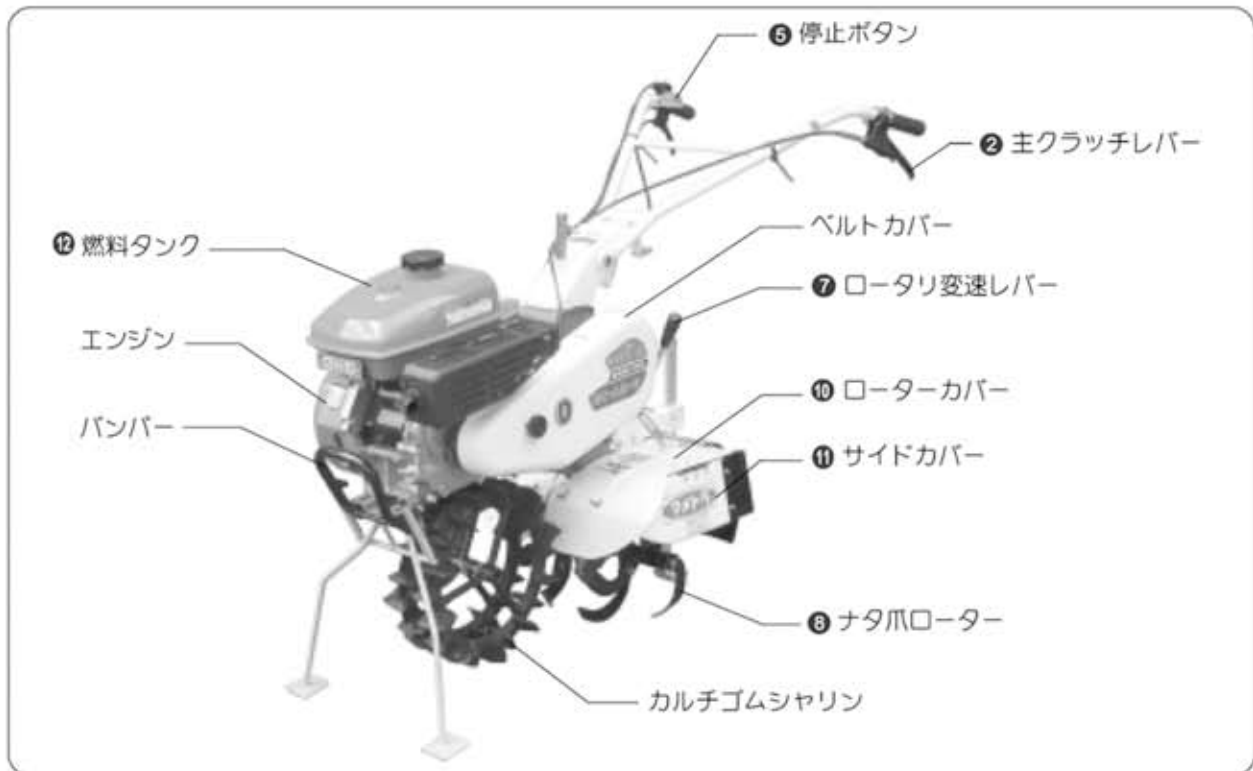
注意

- 運転中にカバーの下に手を入れないこと。
- カバーの開閉はロータリーを停止してから行うこと。

8MA 0014 000



3 各部の名称と機能



① スロットルレバー

エンジン回転の上げ、下げに使用します。

② 主クラッチレバー

主クラッチレバーを左手でゆっくり握りますとクラッチが入ります。クラッチを切る時は、レバーを少し握りストッパーを握ってください。軽く切れます。

③ ハンドル回動ノブ

菊座締付となっておりますので、ハンドルの左右移動に使用します。

④ ハンドル上下レバー

ハンドルの高さ調節に使用します。

⑤ 停止ボタン

ボタンを押すとエンジンは停止します。緊急時、エンジン停止兼用。

⑥ 変速レバー

走行速度の変速に用います。

⑦ ロータリ変速レバー

ロータリ正転・逆転の変速ができます。

⑧ ナタ爪ローター

深さ10~13cm、耕巾15・22・30cmの作業ができます。

⑨ 抵抗棒

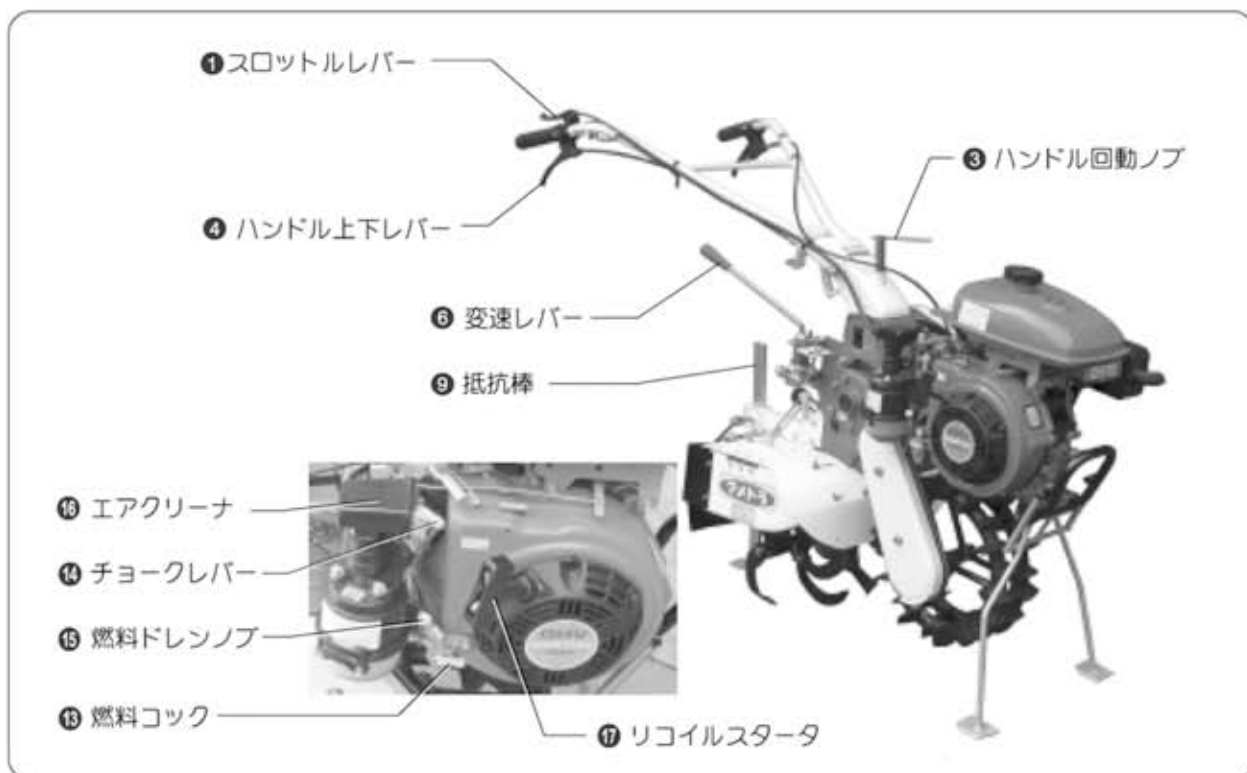
進行速度の調整および深さの調節に使用します。

⑩ ロータリーカバー

ロータリカバーの開閉及び幅の可変調節できます。

⑪ サイドカバー

サイドカバーの開閉ができます。



⑫ 燃料タンク

自動車用無鉛ガソリンを使用します。

⑬ 燃料コック（ストレーナコック）

燃料の開閉に使用します。

⑭ チョークレバー

エンジン始動時に使用します。

⑮ 燃料ドレンノブ（フルドレンつまみ）

気化器（キャブレター）内及び燃料タンクの燃料を抜くのに使用します。

⑯ エアクリーナ

ホコリの少ない方向に吸入口を向けてください。

⑰ リコイルスタータ

エンジンの始動に使用します。

4 作業前の注意



★燃料補給時は、くわえタバコや裸火照明は絶対にしないでください。
火災を起こす危険があります。



★点検・整備をおこなうときは、必ずエンジンを停止させ、過熱部分が冷めてからおこなってください。
★エンジンが熱い間は、注油・給油は絶対にしないでください。
火傷や火災のおそれがあります。
★燃料を補給したときは、燃料キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。

- エンジンオイル、ミッションオイル、燃料の点検・補給をおこなってください。
- 各作動部へ注油をし、各部が正しく作動することを確認してください。
- エアクリーナのエレメントにホコリやゴミが付着していないか点検してください。
- 主クラッチレバー、スロットルレバー等が正しく作動することを確認してください。
- エンジン、ミッション等から油もれがないか点検してください。
- 各部のボルト、ナット類のゆるみ、脱落の有無を点検し、10～20時間で各部の増締めをしてください。

機械の性能を快適に保つためには日頃の点検、整備、調整が機械の寿命に大きく影響します。

◆次の点にご注意ください。

- ❶ 各部のボルト、ナット類のゆるみ、脱落の有無を点検してください。なお、10～20時間使用後に各部の増締めをおこなってください。
- ❷ 各注油箇所指定の潤滑油が適正量入っているか点検してください。
(輸送中の油洩れ防止のため油が入っていない場合があります。)
- ❸ 主クラッチレバー、スロットルレバー等が正しく作動するかを確かめてから、運転を始めてください。
- ❹ Vベルトは運転初期に多少伸びます。そのままですとスリップしますから、2～3時間運転後に張り直してください。
- ❺ 新しい機械は最初2～3時間は無理な運転を避けてナラシ運転をしてください。
- ❻ 運転時に異常音または異常な発熱はないか点検してください。

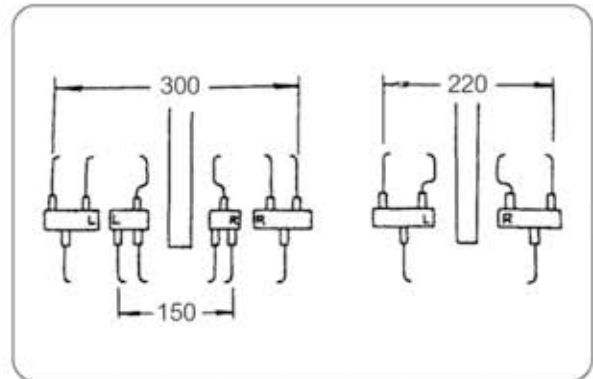


4 作業前の注意

■作業機の取付

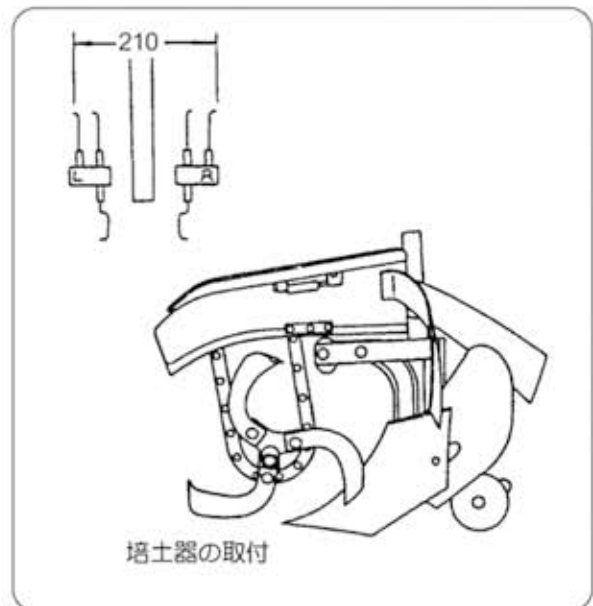
(1) 耕うん軸部の取付

耕うん機は伝達効率の良い六角軸ですから作業機の取付け、取り外しが楽です。六角寸法は対辺18mmとなっております。ローターの取付けは、右図の様に組付けてください。



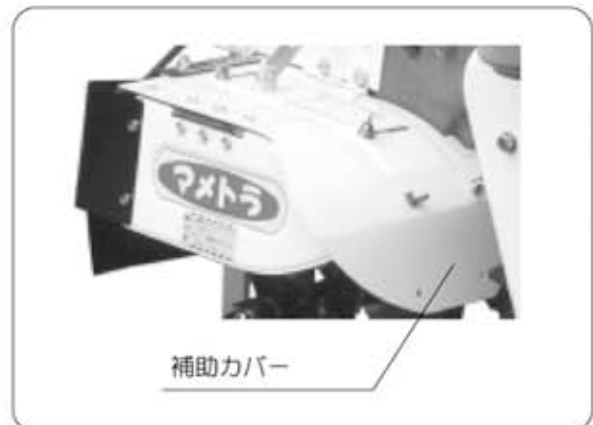
(2) 培土器の取付

培土器を使用する場合は爪を外向きとし附属の尾輪サポートを使用するとマメトラ中培土器またはマメトラ小培土器が使用できます。爪の配列及び培土器の取付けは、右図を参照ください。培土器は別にお買い求めください。



(3) 補助カバーの取付

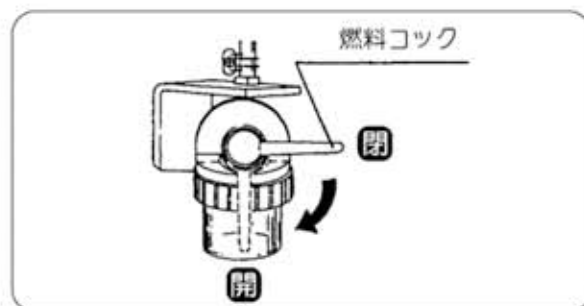
附属品の中に補助カバーが入っています。溝上げ作業等で土が飛ぶ場合は右図の所に取付けて使用してください。カバーの開閉時にも隙間を防いで泥の飛散を防止します。



5 始動・発進・停止のしかた

■ 5-1 始動のしかた

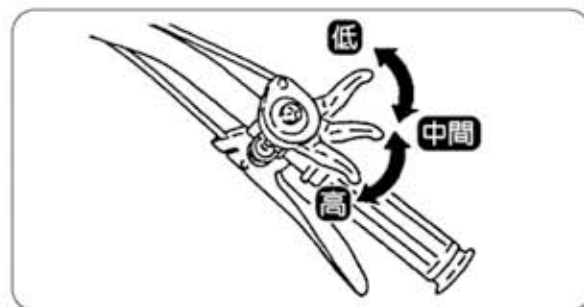
① 燃料コックを「開」位置にします。



② 外気温がおよそ15℃以上の時にはチョーク操作は不要です。それ以下の時にはチョークレバーを全閉にします。



③ スロットルレバーを「高」の方に少し開いてください。



④ 停止ボタンを押しながら、「運転」位置にしてください。



5 始動・発進・停止のしかた

⑤ リコイルスタータグリップを握って、圧縮位置まで軽く引き、この位置から勢い良く引っ張ります。

エンジンが始動したら、リコイルスタータグリップを静かに元にもどしてください。

※運転中はリコイルスタータを引かないでください。

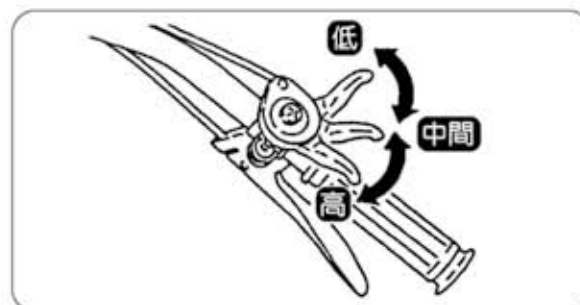


注 意

★2～3分暖機運転をおこなってから、作業を始めてください。

■ 5-2 発進のしかた

① スロットルレバーをゆっくり「高速」位置にします。



② 主クラッチレバーをゆっくり握りますとクラッチが入ります。



● 発進するときは、周囲の安全を確かめて発進してください。

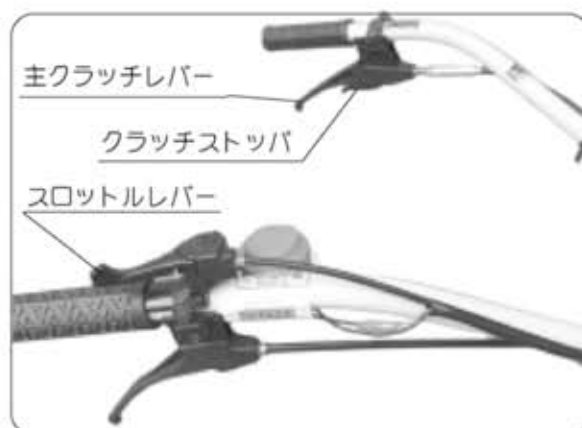
■ 5-3 停止のしかた



警告

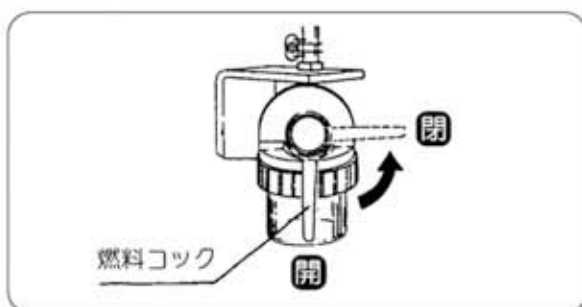
★エンジン停止直後はしばらくマフラーが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。

- ① 主クラッチレバーのクラッチストッパーを握ると停止します。
- ② スロットルレバーを「低速」位置に戻します。
- ③ 停止ボタンを押してエンジンを停止します。



■ 5-4 燃料コックを閉じます

燃料コックを閉じずに前倒し又は後倒しにすると、キャブレターがオーバーフローをし、ガソリンがエアクリーナやクランク室内に入り込む場合がありますので必ず燃料コックを閉じてください。



6 潤滑油

■ 6-1 エンジン

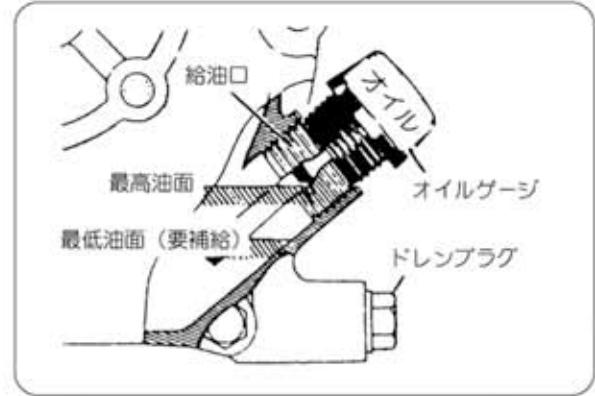
1) エンジンオイル

エンジンオイルは入ってありません。使用前に、必ずエンジンオイルを正規量入れてください。使用オイルはSD級・SE級の良質の新しいオイルを使用してください。

夏期…SAE-30 SAE10W-30

SAE10W-40

冬期…SAE-20 SAE10W-30



2) エンジンオイルの交換

エンジンクランク室	1回目交換	2回目交換
オイル交換時間	20時間後	50時間毎

エンジンオイルが汚れていると、各部の摩耗を早めますので、早めに新しいオイルと交換してください。

エンジンが暖まっている間にドレンプラグを外して古いオイルを抜きますと簡単にできます。

GB130LN形潤滑油 0.5ℓ



注意

- ★ミッションケースのオイルは最初の10～20時間使用したら一度交換してください。最初は初期摩耗がありますので、早めをお願いします。
- ★またその後は年に1回か2回交換してください。長く使うと老化して油としての用をなくします。

■ 6-2 ミッションケース

SAE90番の良質ギヤオイルを使用してください。

注油は右側面注油口から規定量（1ℓ）入れてください。

注油口より油面が見える程度が適当です。

油を抜くときは排油口より抜いてください。

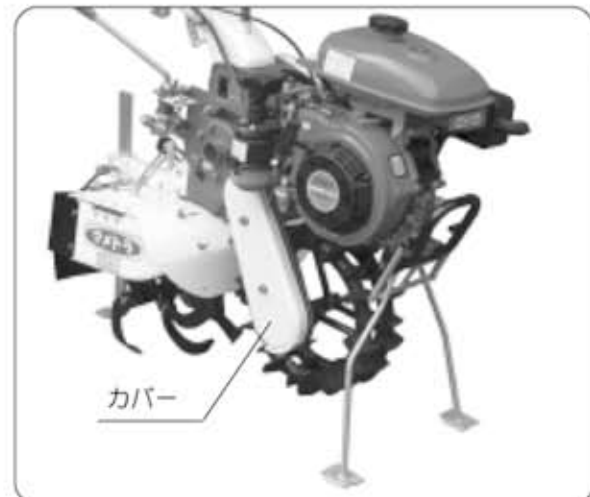
- 工場出荷時は入れてありますので、使用前に点検してください。



■ 6-3 車軸ケース

車軸ケースの潤滑は良質グリスを組立時に塗布していますが20時間毎にカバーをはずし、良質グリスを塗布してください。

- 各摺動部
各摺動部にはギヤオイル、またはエンジンオイルを適宜滴下してください。また車軸、耕うん軸には必ず油をつけて、ホイールチューブを取り付けてください。クラッチワイヤにも時々注油してください。



7 本機各部の構造と調整

■7-1 主クラッチレバーの操作

- 1) 主クラッチを入れるには、ハンドル左側のレバーを握ります。左手でレバーを握ると、クラッチストッパーがカチリと入りクラッチがロックされます。
- 2) 主クラッチを切る場合は、クラッチレバーとクラッチストッパーの両方を一緒に握って同時に離すとクラッチが切れます。



注意

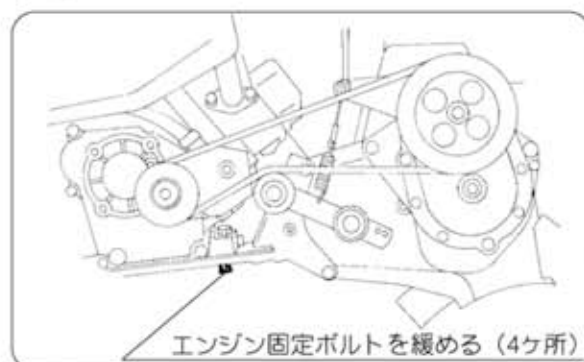
★クラッチストッパーのみを握るとロックが外れないことがあります。運転前に主クラッチレバーの入・切操作をおこなって、操作要領を確認してください。

クラッチはベルトの緊張によっておこなわれますので、この調整には特に気を付けてください。ベルトの張りが弱いとベルトが早く傷み動力の伝達効率が悪くなります。張りが強いとクラッチが切れず大変危険です。クラッチを入れてもベルトの張りが弱い場合にはエンジン固定の4本のナットをゆるめエンジンを前方に移動させてベルトの張り具合を調整します。



※ワイヤーの調整

ベルトの張りが弱いときは、ボルト・ナットの調節でアウターを伸ばすと張りが強くなります。



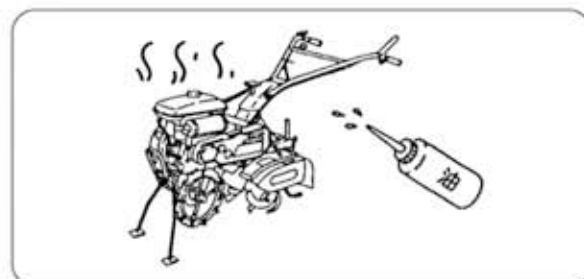
■7-2 チョークレバーの操作

- 外気温がおよそ15℃以上の時にはチョーク操作は不要です。
- それ以下の時にはチョークレバーを全閉にします。
- もしチョークレバーを「閉」のまま何回もリコイルを引っ張りますと燃料の吸い過ぎとなり点火プラグも漏れて始動不良となります。



■ 7-3 暖気運転

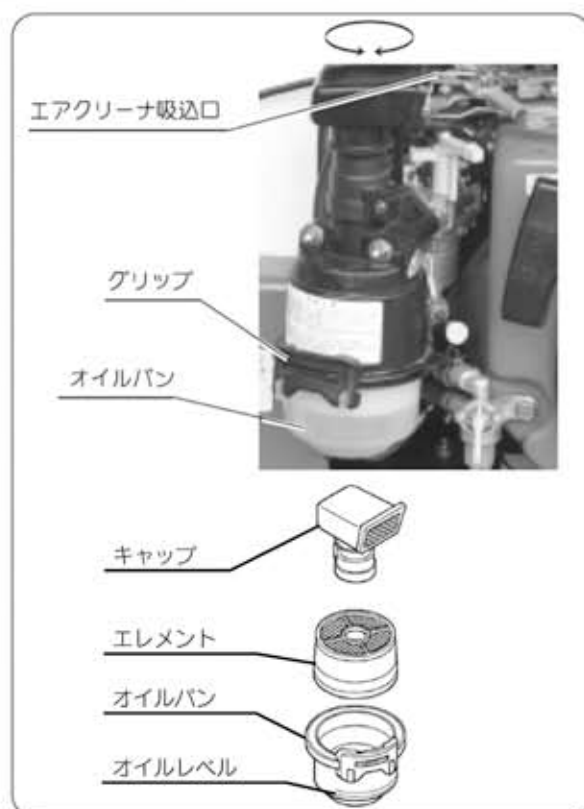
エンジンが始動したら3分間位負荷をかけずに暖気運転をしてください。オイルを各部へ充分にゆきわたらせるのと同時に作業させても大丈夫な状態にするためです。



■ 7-4 エアークリーナの掃除

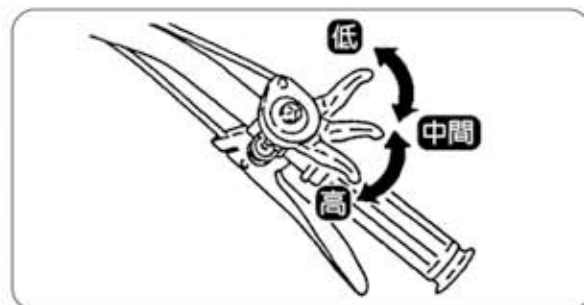
- ① グリップを外し、オイルパンおよびエレメントを外してください。
- ② オイルが不足しているときは、オイルレベルまで補充してください。汚れがひどいときにはオイルパン・エレメント共、白灯油で洗浄し、エレメントはエンジンオイルに浸し、滴下しない程度に振り切ってください。
- ③ オイルパンはよく洗浄し、新しいエンジンオイル（SC級以上）をレベルまで入れてください。
- ④ エアークリーナの吸込口をホコリの少ない方向に向けてください。

※汚れたまま使用しますと、エンジン出力低下や故障の原因になります。



■ 7-5 スロットルレバー

ハンドル右側握部に付いています。レバーを内側方向に廻すとエンジンの回転が上がり馬力が出ます。外側方向に戻しますと回転は下がります。また、始動時にはレバーを「高」の方に少し開いてください。



7 本機各部の構造と調整

■ 7-6 変速機構

変速レバーの操作は必ず主クラッチを切ってからおこなってください。



1) 変速レバー

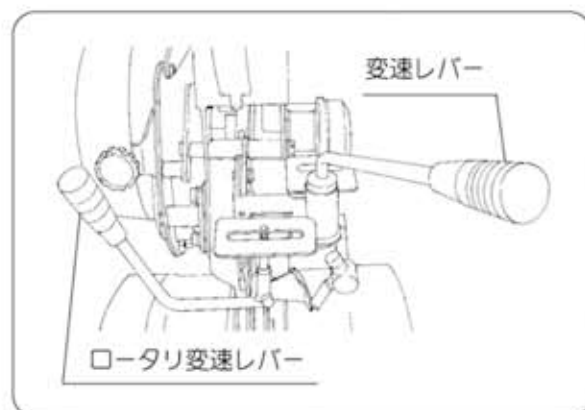
作業に合わせて変速レバーを切り換えて使用します。低速・高速・後速

2) ロータリ変速レバー

機体が前進するとき、車輪と同一の回転方向が正転です。

正転での作業…中耕・培土

逆転での作業…溝堀・ネギ土入れ



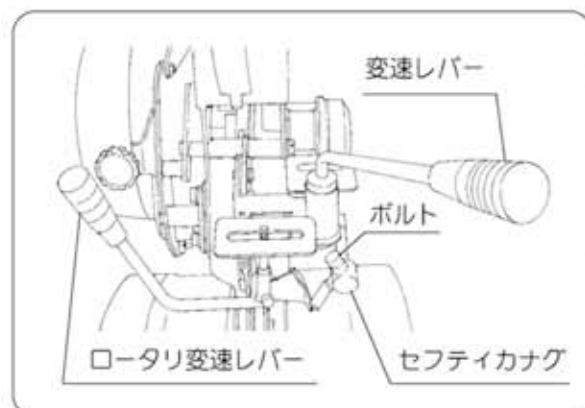
■ 7-7 バックセイフティ機構

本機には安全のためバックセイフティ機構になっています。

ロータリが【正】【逆】いずれかに入っていた場合、変速レバーは【後】に入りません。必ずロータリ変速レバーを【止】の位置にしてから後退してください。

ハンドルをターンして使用する場合は、ボルトをゆるめてセイフティカナグをはずし解除してください。

再度、足元ロータリーの状態で使用する場合は必ずセイフティカナグをセットしてください。



■7-8 ハンドル

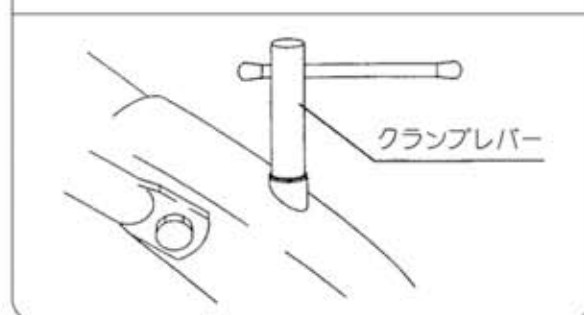
1) 上下について

上下の調節はハンドル上下レバーを握り、作業姿勢に合わせてワンタッチで切換えてください。



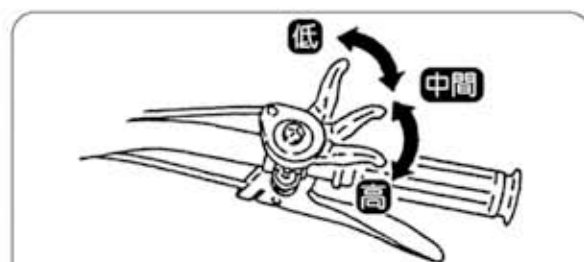
2) 回転について

左右の回転は、ハンドル本体上部のクランプレバーをゆるめて左右側に廻してください。菊座締付となっておりますので12度毎に固定ができます。

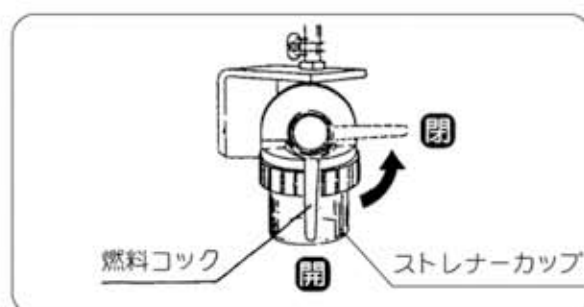


■7-9 エンジン停止

1) エンジン停止の際は、スロットルレバーを「低速」に戻し、停止ボタンを押して下さい。



2) 燃料コックを「閉」にする。作業機の取付け、運搬等の際は、必ず燃料コックを「閉」にしてください。前に倒しすぎますと、ガソリンがキャブレター内でオーバーフローすることがあります。また、後に倒しすぎますとエアークリーナ元素にオーバーフローし、エンジンの始動不良をおこします。



8 不具合と対策方法



注意

- ★エンジンの整備には、特別な工具やエンジンの専門工場でないといけないものがあります。
- ★使用者が整備できる項目とその対策のみを示してあります。

■エンジンが始動しないとき（三菱メイキエンジン取扱説明書参照）

原因	処置
●始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動する。
●燃料タンクにガソリンをいれたまま1カ月以上保管しガソリンが腐った	タンク・キャブレター内の腐ったガソリンを排出し、新しいガソリンを入れる。
●ストレーナカップに水やゴミが混入している。	ストレーナを外してカップとネットを清掃する。燃料タンク内のガソリン交換及び清掃キャブレター内のガソリンも排出する。
●チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	チョークを戻し（開き）リコイルを引くか、点火プラグを外して乾燥させる。
●エンジン停止後、燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり、車両で運搬したためキャブレターがオーバーフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。（三菱メイキエンジン取扱説明書参照）
●エアクリナーエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。（三菱メイキエンジン取扱説明書参照）または新しい物と交換する。
●点火プラグの火花が弱い、火が飛ばない。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または、新しい物と交換する。

■エンジン回転が上がらない、不安定、出力が不足するとき

原因	処置
●エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	チョークを戻す（開く）。（三菱メイキエンジン取扱説明書参照）
●ストレーナカップに水やゴミが混入している。	ストレーナを外してカップとネットを外して清掃する。（三菱メイキエンジン取扱説明書参照）キャブレター内のガソリンも排出する。
●エアクリナーエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。（三菱メイキエンジン取扱説明書参照）
●スロットルケーブルの引っ張りが不足している。	ケーブルのセット位置を調節する。 （スロットルレバーの調節参照）

■エンジンが振れる、異音が発生する

原因	処置
●エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	取付けボルトを締め付ける。

■ハンドルのガタが多い

原因	処置
●ハンドル支点部のガタが多い。	ハンドル回転ノブを締め直す。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは、購入先にご相談ください。

9 手入れと保存方法

長期間運転しないときや、長期間保存する場合は、次の手入れをおこなってください。

1. 本機の掃除、洗浄、注油

泥、ゴミ、塵などは、水洗いし、水洗い後はよく水分を拭き取り各回転部、摺動部にたっぷりとお油を差してください。



2. オイル交換

オイル交換は、作業が終って潤滑油が暖かいうちにおこないますと、大変楽ですし、またきれいに排油することができます。

3. シリンダー内の錆付防止

点火プラグを外し、プラグの穴よりエンジンオイルを約10cc位入れリコイルスタータを2～3回引いてプラグを取り付けてください。圧縮のある所で止めてください。

4. 燃料タンク、キャブレター、燃料コック内のガソリンは完全に抜き取ってください。

付 属 品

コード番号	品 名	個 数	備 考
9TL-1001-300	スパナ10×13	1	
9TL-1701-900	スパナ17×19	1	
9TL-1201-400	スパナ 12×14	1	
KN12004GA	ボックススパナ	1	
KN13001A A	ドライバー	1	
159-9001-000	本機取扱説明書	1	
KN52025AA	エンジン取扱説明書	1	

消耗部品リスト

9VA-0370-003	Vベルト	1	LA-37吋
9OS-2047-070-2	オイルシール	1	3軸使用
9OS-1535-070-2	オイルシール	1	3軸使用
9OS-2547-0704	オイルシール	2	6軸使用
R05-0319-000	耕うん刃S1R	1	
R05-0312-000	耕うん刃S1L	1	
R05-0318-000	耕うん刃S2R	5	
R05-0311-000	耕うん刃S2L	5	

10 特 長

① 安定した作業

サイド駆動2輪方式（特許出願中）採用により、機体のバランスがよくけん引力も抜群で旋回も楽にでき安定した作業ができます。

② 狭いうね間作業

駆動輪が狭いため、狭いうね間作業も楽にできます。

③ 快適なエンジン

4サイクル電子エンジンを搭載していますから、女性の方でも楽々始動でき快適な作業ができます。

④ 豊富な作業速度

走行速度は前進2段、後進1段、ロータリは正転、逆転が作業内容に合わせて選べます。

⑤ 豊富な作業機

中耕から培土、溝上げ等豊富な作業が可能です。

⑥ 狭くて丈夫なミッション

うね間作業ができるよう、ミッション幅を可能な限り狭くしてありますし、また石等に当たっても丈夫な鉄板製です。

⑦ 自由なハンドル

作業者に合わせて、ハンドル上下(7段階)はもちろん左右回動も可能です。

⑧ 本格的なナタ爪ローター

耕幅は150、220、300 と広くも狭くも調節できます。

⑨ 完璧な安全設計

エンジンからの伝導ベルトはもちろん、動力取出軸もカバーされ、安心して使用できるよう考慮してあります。

11 仕様

	項目	仕様
全 体	型式名	マメトラMC-AⅢ
	区分	MC-AⅢ-W・D
	全長 (mm)	1380
	全幅 (mm)	590
	全高 (mm)	1190
	重量 (kg)	65 (ミツシヨソイルを含む)
	走 行 部	低速 (km/h)
高速 (km/h)		2.88
後速 (km/h)		0.63
クラッチ		ベルトテンション式
車軸径		φ20
最大車輪径		φ330 W車輪 カルチゴムシャリン
潤滑油		ギヤオイル50#~90#
潤滑油量 (ℓ)		1
ハ ン ド ル 部	形状	ツノハンドル
	上下調節	ワンタッチ式 (7段)
	左右調節	菊座固定式 (円周30等配)
ク ワ リ 部	正転 (r.p.m)	262
	逆転 (r.p.m)	354
	クワリ軸径	六角軸 (対辺18mm)
	最大クワリ径	φ320
	作業幅 (mm)	150、220、300
	クワリカバー (mm)	幅可変調節式 (300~360) 角度可変調節式 (0~45°)
	サイドカバー	ワンタッチ開閉式 (0~80°)
エ ン ジ ン 部	型式	GB130LN-391
	最大出力 (kW [PS] /rpm)	3.0 [4.2] /2000
	排気量 (cc)	126
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
	燃料タンク容量 (ℓ)	3
	点火プラグ	NGK BP6HS又は相当品
	潤滑油 (ℓ)	0.5
	始動方式	リコイルスタータ式

MEMO



マメトラ 農機株式会社

本社・工場	☎363-0017	埼玉県桶川市西2丁目9-37	☎048(771)1181(代)	FAX048(771)1529
秋田工場	☎018-0134	秋田県にかほ市象潟町西中野沢字家の下2-3	☎0184(43)4160(代)	FAX0184(43)4120
東北事業部	☎018-0134	秋田県にかほ市象潟町西中野沢字家の下2-3	☎0184(43)4121(代)	FAX0184(43)4120
山形営業所	☎994-0012	山形県天童市大字久野本3920-1	☎023(654)0681	FAX023(654)7387
福島営業所	☎960-0102	福島県福島市鎌田字一里塚1-1	☎0245(53)0885	FAX0245(53)6768
新潟営業所	☎940-1104	新潟県長岡市撰田屋町字崩2617	☎0258(23)1329	FAX0258(23)1354
長野営業所	☎388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川496-6	☎026(293)4888-2693	FAX026(292)0815
茨城営業所	☎310-0853	茨城県水戸市平須町新山1828	☎029(241)3751-3752	FAX029(241)3752
栃木営業所	☎322-0026	栃木県鹿沼市茂呂645-4	☎0289(76)0187	FAX0289(76)0069
群馬営業所	☎379-2105	群馬県前橋市東大室町183	☎027(268)3119	FAX027(268)3862
中部SS	☎501-6233	岐阜県羽島市竹鼻町飯柄370-1	☎058(393)0041	FAX058(391)3014
マメトラ四国機器(株)	☎790-0047	愛媛県松山市余戸町南1丁目23-18	☎089(973)2325	FAX089(971)2563

お客様メモ

購入日 平成 年 月 日

購入店名

159 9001 000
11113-06-0070